

## 平成 29 年度 学校評価実施報告書

学校名 (桂川中学校)

## (1) 「確かな学力」の育成に向けて

## 重点目標

生徒の主体的な学習を促進し、学習意欲を高め、個性や能力の伸長とともに基礎的・基本的な知識・技能を習得し、課題を解決する能力を身につけさせる学習活動を推進する。また、習得した知識や技能を活用し、課題解決のための思考力・判断力・表現力を身につけさせる。そして、そのことを通して、生きる力の育成と豊かな人間性を育む。

## 具体的な取組

- ①学習活動に対する姿勢（約束やルール）を身につけ、意欲的に学ぶ集団づくりに取り組む。
- ②「わかる喜びと学ぶ楽しさ」を実感できる授業の創造と工夫改善。更なる授業改善と授業力の向上。
- ③「めあて・ねらい・目標」の提示（視覚化）と定着や理解を確認させるために「まとめや振り返り」の徹底。
- ④習得した知識や技能を活用し、言語活動やグループワーク・実験等を重視した学習活動（アクティブラーニング）を通して、思考力・判断力・表現力を身につけさせる。
- ⑤少人数教育やチームティーチングを通して、個に応じたきめ細やかな指導を行い、自ら学ぶ生徒を育成する。
- ⑥学校図書館の活用を通して、主体的・意欲的な学習活動や読書活動の充実を図る。
- ⑦支援を必要とする生徒に対し、全教職員共通理解のもと、個の実態に応じた適切な支援が行えるよう、通級担当や教科担任及び担任が連携を密に取組を進める。
- ⑦公開授業や研究協議を充実させ、教職員が互いに学び合い、自己研鑽を積み、実践力を高める。

## (取組結果を検証する) 各種指標

- ・学力状況調査の結果      ・学習確認プログラム      ・学校評価アンケート
- ・研究授業の実施状況      ・個別の指導計画で焦点化した生徒（支援を必要とする生徒）数

## 各種指標結果（1回目）

《全国学力・学習状況調査の結果》正答率

国語 A (本校 79・京都市 78)    国語 B (本校 73・京都市 73)    数学 A (本校 72・京都市 65)  
 数学 B (本校 54・京都市 49)    総合 (本校 69.5・京都市 66.3)

## 生徒質問紙

## (10) 将来の夢や目標を持っていますか

1 当てはまる    自校 34.1 全国 45.3      2 どちらかと言えば当てはまる    自校 24.2 全国 25.2

## (11) 授業で学んだことを、他の学習や普段の生活に生かしていますか

1 当てはまる    自校 14.8 全国 22.5      2 どちらかと言えば当てはまる    自校 47.5 全国 48.

## (15) 学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか

1. 3時間以上    自校 13.9 全国 10.1    2. 2時間以上3時間未満    自校 27.8 全国 25.3

## (18) 学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか

1. 2時間以上    自校 5.4 全国 5.7    2. 1時間以上2時間未満    自校 7.2 全国 8.3

## (56) 「総合的な学習の時間」では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

1 当てはまる    自校 12.1 全国 21.3      2 どちらかと言えば当てはまる    自校 38.1 全国 43.0

## (57) 1, 2年生の時に受けた授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思いますか

1. 当てはまる    自校 19.3 全国 26.3    2. どちらかと言えば当てはまる    自校 41.1 全国 48.1

(60) 1, 2年生の時に受けた授業では, 自分の考えを発表する機会が与えられていたと思いますか

1. 当てはまる 自校 35.9 全国 42.6 2. どちらかと言えば当てはまる 自校 44.4 全国 41.9

(61) 1, 2年生の時に受けた授業では, 生徒の間で話し合う活動をよく行っていたと思いますか

1. 当てはまる 自校 22.0 全国 38.9 2. どちらかと言えば当てはまる 自校 48.9 全国 42.9

(63) 1, 2年生の時に受けた授業の中で目標(めあて・ねらい)が示されていたと思いますか

1. 当てはまる 自校 62.3 全国 53.1 2. どちらかと言えば当てはまる 自校 30.5 全国 34.7

(64) 1, 2年生の時に受けた授業の最後に学習内容を振り返る活動をよく行っていたと思いますか

1. 当てはまる 自校 17.0 全国 25.3 2. どちらかと言えば当てはまる 自校 39.5 全国 40.8

《学習確認プログラムの結果》

1年4月実施ジョイント(小学校総まとめ)

総合(自校 66.6・全市 67.5) 国語(自校 66.1・全市 67.8) 数学(自校 67.2・全市 67.2)

小学生時家庭学習時間①2時間以上 15.3%(全市 11.9%) ④全くしていない 3.6%(全市 7.1%)

中学校1年家庭学習時間①3時間以上 23.4%(全市 17.1%) ④全くしていない 9.1%(全市 6.6%)

2年7月実施プレステージ1

総合(自校 57.8%・全市 57.4%・Basic ㇏) 国語(自校 68.8%・全市 68.4%・Basic ㇏)

社会(自校 53.1%・全市 52.6%・Basic ㇏) 数学(自校 62.5%・全市 59.2%・Basic ㇏)

理科(自校 53.6%・全市 54.7%・Basic ㇏) 英語(自校 50.6%・全市 51.8%・Basic ㇏)

3年5月実施1STステージ

総合(自校 55.4%・全市 54.1%・PRE3 ㇏) 国語(自校 61.8%・全市 62.6%・PRE3 微㇏)

社会(自校 46.0%・全市 47.9%・PRE3 微㇏) 数学(自校 58.5%・全市 51.7%・PRE3 ㇏)

理科(自校 50.6%・全市 49.2%・PRE3 ㇏) 英語(自校 59.5%・全市 58.6%・PRE3 ㇏)

4階層帯グラフ CD層が減少

《学校評価アンケート》

ベル着を守り, けじめを付けて授業に臨めている

1年そう思う 40.6% 大体そう思う 46.5%あまりそう思わない 11.8%そう思わない 1.1%

2年そう思う 32.9% 大体そう思う 58.9%あまりそう思わない 6.8%そう思わない 1.4%

3年そう思う 43.0% 大体そう思う 45.1%あまりそう思わない 6.2%そう思わない 1.6%

学校の宿題以外の学習を家でしている

1年そう思う 37.0% 大体そう思う 42.9%あまりそう思わない 12.2%そう思わない 7.9%

2年そう思う 33.7% 大体そう思う 34.1%あまりそう思わない 22.1%そう思わない 10.1%

3年そう思う 31.1% 大体そう思う 34.2%あまりそう思わない 23.8%そう思わない 10.9%

毎日, 朝読書をしている

1年そう思う 66.8% 大体そう思う 25.8%あまりそう思わない 4.7%そう思わない 2.6%

2年そう思う 41.8% 大体そう思う 34.1%あまりそう思わない 15.9%そう思わない 8.2%

3年そう思う 52.3% 大体そう思う 30.6%あまりそう思わない 9.3%そう思わない 7.8%

《研究授業の実施状況》

6月13日西京支部研修会

7月6日第1回校内授業研修会

8月23日校内研修会

若手・中堅教員実践道場の開催

《個別の指導計画で焦点化した生徒(支援を必要とする生徒)数》 1年15名, 2年9名, 3年4名

内, 通級指導教室実態 3年4名, 2年2名, 1年5名

自己評価	分析（成果と課題） １． <u>授業を通して自ら学びに向かい合う力を育み，身につけさせる</u> ①全国学力・学習状況調査の結果より，自校と全国を比較してみると，「めあて・目標」を示し学習活動をすすめるも，「振り返り」ができていない。②課題の設定解決・発表の機会・話し合う活動など主体的・対話的な学びの実践が不十分なことがうかがえる。③各教科で習得した「見方・考え方」を活用する総合的な学習の時間などの授業において，自分で課題を立てて情報を集め整理して，調べたことを発表するなどの学習活動が不十分なことがうかがえる。④自己の将来の夢や目標を持っている生徒の割合や，授業で学んだことを他の学習や普段の生活に行かせている生徒の割合が低いことがうかがえる。⑤教科会の充実を図り，教職員で生徒の実態を理解し，学習活動に結びつけられるように学習確認プログラムの分析と報告を研修会に行うことにより，学習確認プログラムの正答率などは向上している。 ２． <u>家庭での自学自習の習慣をつける</u> ①《全国学力・学習状況調査の結果》では全国を上回り《学習確認プログラムの結果》１年生でも全市を上回り，《学校評価アンケート》においての高い数値となっている。②中１になり，全くしていない生徒が増加している。	
	分析を踏まえた取組の改善 ①生徒達が主体的に学ぶ授業を進めていく必要がある。②教職員の指導力を高めるための若手・中堅教員実践道場の開催や，全国学力・学習状況調査の結果や学校評価アンケートの結果を基にして，自校の課題を夏季研修にて管理職よりしてきたが，引き続き，研究主任や教務主任から課題改善に向けての提案を行う。③学習指導委員会で，教科会や研修会での内容を充実させ，教職員の授業研究への意欲が高め，指導力の向上につなげるために，本校の課題を踏まえたテーマ設定を行い，生徒の学習活動に結びつけていく。④勤勉で課題をしっかりと取り組むところが有り，家庭学習時間もしっかりと取れていることもあるので，学年・教科と連携して，授業に生かすことができる連動した課題内容を提示する工夫・改善を行い，自主的な家庭学習から主体的な学びにつながるようにしていく必要がある。⑤家庭学習を全くしていない生徒達へも，家庭との連携や生徒自身への指導を図り，授業への取り組む意欲の向上を図れるようにする。	
	学校関係者による意見・支援策 支援を要する生徒の保護者の理解が難しいことは，小学校での様子や地域での保護者の対応でわかっているが，さまざまな機関や諸団体とも連携を図りながら，生徒の成長を支援して欲しいし，協力もしていく。	
学校関係者評価	評価日 7月31日	評価者 学校運営協議会
各種指標結果（２回目） 《学校評価アンケート》 ベル着を守り，けじめを付けて授業に臨めている １年そう思う 42.5% 大体そう思う 46.8%あまりそう思わない 9.1%そう思わない 1.6% ２年そう思う 28.2% 大体そう思う 55.8%あまりそう思わない 15.0%そう思わない 1.0% ３年そう思う 47.9% 大体そう思う 44.5%あまりそう思わない 6.6%そう思わない 0.9% 学校の宿題以外の学習を家でしている １年そう思う 37.6% 大体そう思う 36.0%あまりそう思わない 19.4%そう思わない 7.0% ２年そう思う 33.0% 大体そう思う 35.4%あまりそう思わない 21.8%そう思わない 9.7%		

3年そう思う **43.8%** 大体そう思う 35.7%あまりそう思わない 16.2%そう思わない 4.3%  
毎日、朝読書をしている

1年そう思う **72.8%** 大体そう思う 19.0%あまりそう思わない 3.3%そう思わない 4.9%

2年そう思う **59.3%** 大体そう思う 32.4%あまりそう思わない 6.4%そう思わない 2.0%

3年そう思う **56.3%** 大体そう思う 29.6%あまりそう思わない 10.8%そう思わない 3.3%

《研究授業の実施状況》

10月27日 小中合同研修会（桂東小にて） 10月30日から11月2日授業研究週間（授業公開）

11月1日 支部合同授業研修（道徳）・研究協議

1月18日 第2回校内授業研修会（道徳）・研究協議

若手・中堅教員実践道場の開催

《個別の指導計画で焦点化した生徒（支援を必要とする生徒）数》 1年15名、2年9名、3年4名  
内、通級指導教室実態 3年4名、2年2名、1年5名

自己評価	分析（成果と課題）	
	1. 授業を通して自ら学びに向かい合う力を育み、身につけさせる ①1回目に引き続き「めあて・目標」を示し学習活動をすすめるも、「振り返り」ができていないことが窺える。②課題の設定解決・発表の機会・話し合う活動など主体的・対話的な学びの実践が不十分なことがうかがえる。③各教科で習得した「見方・考え方」を活用する総合的な学習の時間などの授業において、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動が不十分なことがうかがえる。④教科会の充実を図り、教職員で生徒の実態を理解し、学習活動に結びつけられるように学習確認プログラムの分析と報告を研修会に行うことにより、学習確認プログラムの正答率などは向上している。 2. 1・3年生では授業規律を守り取り組んでいる意識が高く、2年生は低くなった。 3. 家庭での自学自習の習慣をつける ・《学校評価アンケート》において、1年生でしていない割合が増加し、3年生では高くなっていた。 4. 朝読書の割合が1・2年生で増加した。	
	分析を踏まえた取組の改善 ①生徒達が主体的に学ぶ授業を進めていく必要がある。②教職員の指導力を高めるための若手・中堅教員実践道場の開催や、引き続き、学習確認プログラムの結果を分析し、課題を確認して、研究主任や教務主任から課題改善に向けての提案を行う。③学習指導委員会で、教科会や研修会での内容を充実させ、教職員の授業研究への意欲が高め、指導力の向上につなげるために、本校の課題を踏まえたテーマ設定を行い、生徒の学習活動に結びつけていく。④勤勉で課題をしっかりと取り組むところが有り、学年・教科と連携して、授業に生かすことができる連動した課題内容を提示する工夫・改善を行い、自主的な家庭学習から主体的な学びにつながるようにしていく必要がある。⑤家庭学習を全くしていない生徒達へも、家庭との連携や生徒自身への指導を図り、授業への取り組む意欲の向上を図れるようにする。	
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 家庭での学習については、保護者の指導する力が必要かもしれないが、生徒達自身が意欲的に取り組めるようなことを宿題や補充学習で行えばどうか。	
	評価日 3月6日	評価者 学校運営協議会

## (2)「豊かな心」の育成に向けて

### 重点目標

学級指導を基盤とし、集団の一員としての自覚を深め、互いを思いやり、協力し、よりよい生活を築こうとする態度を育成する。さまざまな教育活動を通して、「しなやかな心」「柔らかな感性」等を身につけさせ、社会で通用し、貢献できる豊かな人間力を身につけさせる。

### 具体的な取組

- ①学級経営を充実させ、生徒が自己有用感を感じられるような集団作りを目指す。
- ②互いに支えあい、指摘し合える人間関係を築かせ、いじめを助長しない集団の育成を目指す。
- ③道徳教育の充実を図り、相手の気持ちに立って行動できるような集団での活動を推進する。全教職員で取り組む年間 35 時間の道徳の授業実施に取り組む。
- ④豊かな感性や情操を育む手立てとして、読書活動の充実を図る。朝読書の充実発展、自らの学びの場としての学校図書館の活用について教職員の共通理解のものに取り組む。
- ⑤生徒主体の生徒会活動（文化的行事、体育的行事、学校祭、3年生を送る会）や、部活動（保護者との連携、CAKの実施）の推進充実を図る。
- ⑥生徒会本部の生徒を、支部および京都市全体の生徒会サミットに積極的に参加させ、本校のすべての生徒が、支えあい高めあえる集団作りの基礎を構築させる。
- ⑦登校指導を実施し、挨拶の習慣づけや正しい服装・遅刻の指導を通し、社会生活でのマナーやルールを順守するという規範意識の向上に向けた取り組みを推進する。

### （取組結果を検証する）各種指標

- ・学力状況調査の結果      ・学習確認プログラム      ・学校評価アンケート
- ・クラスマネージメントシート      ・いじめアンケート      ・地域行事へのボランティア参加率

### 各種指標結果（1回目）

#### 《全国学力・学習状況調査の結果》

（4）物事を最後までやり遂げて、うれしかったことがありますか

1 当てはまる 自校 68.3 全国 73.3      2 どちらかと言えば当てはまる 自校 24.2 全国 21.4

（6）自分にはよいところがあると思いますか

1 当てはまる 自校 18.4 全国 28.2      2 どちらかと言えば当てはまる 自校 43.9 全国 42.5

（18）学校の授業時間以外に普段、1日当たりどれくらいの時間、読書をしますか

1. 2時間以上 自校 5.4 全国 5.7      2. 1時間以上2時間未満 自校 7.2 全国 8.3

（20）学校の部活動に参加していますか

4, 運動部, 文化部のどちらにも参加していない 自校 17.5 全国 11.5

（39）学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか

1. 当てはまる 自校 54.7 全国 61.0      2 どちらかと言えば当てはまる 自校 25.6 全国 25.0

（45）地域社会などのボランティア活動に参加したことがありますか

1. 参加したことがある 自校 38.6 全国 49.7      2. 参加したことがない 自校 24.2 全国 20.9

（51）学校の規則を守っていますか

1. 当てはまる 自校 53.4 全国 63.0      2. どちらかと言えば当てはまる 自校 40.4 全国 32.2

（52）友達との約束を守っていますか

1. 当てはまる 自校 59.2 全国 69.4      2. どちらかと言えば、当てはまる 自校 39.0 全国 28.0

（53）人が困っているときは、進んで助けていますか

1. 当てはまる 自校 29.1 全国 35.6      2. どちらかと言えば、当てはまる 自校 49.8 全国 48.8

（54）いじめは、どんな理由があってもいけない事だと思いますか

1. 当てはまる 自校 65.9 全国 73.3 2. どちらかと言えば当てはまる 自校 24.7 全国 19.5  
(5 5) 人の役に立つ人間になりたいと思いますか

1. 当てはまる 自校 63.2 全国 66.1 2. どちらかと言えば、当てはまる 自校 26.9 全国 25.8  
(7 4) 読書は好きですか

1. 当てはまる 自校 40.8 全国 46.1 2. どちらかと言えば、当てはまる 自校 27.8 全国 23.8

#### 《学習確認プログラムの結果》

1 年 4 月実施ジョイント (小学校総まとめ)

将来なりたい職業ある①絶対 31.1% (全市 30.5%) ④考えたことがない 1.5% (全市 1.3%)

きまりを守ること①そう思う 84.8% (全市 83.4%) ④まったく 0% (全市 1.6%)

自分によいところはあるか①ある 25.9% (全市 26%) ④全く 2% (全市 4.1%)

#### 《学校評価アンケート》

周りの人を大切にしている

1 年そう思う 57.1% 大体そう思う 38.6% あまりそう思わない 3.2% そう思わない 1.1%

2 年そう思う 49.8% 大体そう思う 46.4% あまりそう思わない 2.9% そう思わない 1.0%

3 年そう思う 48.2% 大体そう思う 42.5% あまりそう思わない 6.2% そう思わない 3.1%

学校のきまりや約束事を守っている

1 年そう思う 55.0% 大体そう思う 39.7% あまりそう思わない 4.8% そう思わない 0.5%

2 年そう思う 44.0% 大体そう思う 50.7% あまりそう思わない 4.8% そう思わない 0.5%

3 年そう思う 51.8% 大体そう思う 39.3% あまりそう思わない 6.8% そう思わない 2.1%

あいさつを積極的にしている

1 年そう思う 50.3% 大体そう思う 37.6% あまりそう思わない 11.1% そう思わない 1.1%

2 年そう思う 39.7% 大体そう思う 41.6% あまりそう思わない 16.3% そう思わない 2.4%

3 年そう思う 41.5% 大体そう思う 37.3% あまりそう思わない 16.8% そう思わない 4.7%

係や掃除、委員会の仕事がしっかりできている

1 年そう思う 59.1% 大体そう思う 35.8% あまりそう思わない 4.5% そう思わない 0.6%

2 年そう思う 52.9% 大体そう思う 43.6% あまりそう思わない 2.0% そう思わない 1.5%

3 年そう思う 51.9% 大体そう思う 38.6% あまりそう思わない 7.4% そう思わない 2.1%

道徳・学活・総合の時間は楽しい

1 年そう思う 43.2% 大体そう思う 43.2% あまりそう思わない 10.0% そう思わない 3.7%

2 年そう思う 27.4% 大体そう思う 48.1% あまりそう思わない 19.7% そう思わない 4.8%

3 年そう思う 26.9% 大体そう思う 42.0% あまりそう思わない 23.8% そう思わない 7.3%

言葉づかいに気を付けている

1 年そう思う 43.4% 大体そう思う 40.2% あまりそう思わない 13.2% そう思わない 3.2%

2 年そう思う 36.8% 大体そう思う 49.8% あまりそう思わない 11.5% そう思わない 1.9%

3 年そう思う 36.5% 大体そう思う 47.4% あまりそう思わない 14.1% そう思わない 2.1%(

#### 《いじめアンケート》

からかわれる、悪口やいやなことを言われる。24 件

軽くぶつかられる、たたかれる、けられる。9 件

仲間はずれや無視をされる。8 件

スマホやケータイなどでいやなことをされる。7 件

自己評価	分析（成果と課題）				
	1. <u>自他を大切にすることを育成する</u> 自尊感情や自己肯定感などの自尊感情や、互いに認め合い、励まし合う人間関係について、自校と全国を比較してみると下回っている。 2. <u>「公共の精神」に基づく態度を育成する</u> いじめはどんな理由があってもいけない事だということに対して、自校と全国と比較して下回った。 人の役に立つ人間になりたいということに対しても全国と比較して下回った。 地域ボランティア活動への参加についても全国と比較して下回った。				
学校関係者評価	分析を踏まえた取組の改善				
	①「どちらかと言えば当てはまる」との回答が多く、自律的な振る舞いができるように、あらゆる場面での指導を徹底していく必要がある。②特に本年度より道徳教育の充実を掲げていることもあり、生徒達の心情を揺さぶることができる教材開発を行い、自律的な行動が起こせるよう実生活と結ぶ指導を伴う必要がある。③地域での中学生が参加出来る行事が、多数あるので、全教職員のボランティア活動への理解と意義を伝え、生徒達が参加できる環境を整えることや生徒・保護者へ広報活動を行う。④自尊感情が高められるように、学校行事の取組や学級活動・地域行事への参加ができるよう教職員での日常の OJT と研修を図る。				
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策				
	スマートフォンの使い方からのトラブルが多くあると思うので、しっかり学校で指導をすると共に、保護者へも危険性を伝えることが必要である。 登校時にあいさつをしてくれる生徒が多くなっている。（男子生徒で） 地域少年補導キャンプにも自主的に参加して手伝ってくれる。その子達も小学校の時に参加していて、戻ってきてくれた。				
評価日		7月31日		評価者	学校運営協議会
各種指標結果（2回目）					
《学校評価アンケート》					
周りの人を大切にしている					
1年そう思う 47.8% 大体そう思う 46.7% あまりそう思わない 4.4% そう思わない 1.1%					
2年そう思う 47.3% 大体そう思う 47.8% あまりそう思わない 4.4% そう思わない 0.5%					
3年そう思う 47.6% 大体そう思う 47.6% あまりそう思わない 3.8% そう思わない 1.0%					
学校のきまりや約束事を守っている					
1年そう思う 43.7% 大体そう思う 51.9% あまりそう思わない 3.8% そう思わない 0.5%					
2年そう思う 41.5% 大体そう思う 51.7% あまりそう思わない 5.9% そう思わない 1.0%					
3年そう思う 51.5% 大体そう思う 43.7% あまりそう思わない 3.4% そう思わない 1.4%					
あいさつを積極的にしている					
1年そう思う 45.9% 大体そう思う 42.7% あまりそう思わない 9.7% そう思わない 1.6%					
2年そう思う 39.9% 大体そう思う 43.3% あまりそう思わない 15.9% そう思わない 1.0%					
3年そう思う 39.4% 大体そう思う 41.3% あまりそう思わない 16.0% そう思わない 3.3%					
係や掃除、委員会の仕事がしっかりできている					
1年そう思う 58.5% 大体そう思う 39.9% あまりそう思わない 1.1% そう思わない 0.5%					
2年そう思う 58.0% 大体そう思う 36.7% あまりそう思わない 3.9% そう思わない 1.4%					
3年そう思う 55.9% 大体そう思う 39.4% あまりそう思わない 3.3% そう思わない 1.4%					



道徳・学活・総合の時間は楽しい

1年そう思う 38.2% 大体そう思う 39.2% あまりそう思わない 16.7% そう思わない 4.9%  
 2年そう思う 25.0% 大体そう思う 47.1% あまりそう思わない 20.6% そう思わない 7.4%  
 3年そう思う 27.2% 大体そう思う 41.8% あまりそう思わない 23.9% そう思わない 7.0%

言葉づかいに気を付けている

1年そう思う 32.6% 大体そう思う 51.6% あまりそう思わない 12.0% そう思わない 3.8%  
 2年そう思う 33.8% 大体そう思う 50.5% あまりそう思わない 13.2% そう思わない 2.5%  
 3年そう思う 35.7% 大体そう思う 47.4% あまりそう思わない 15.5% そう思わない 1.4%

11月22日 新入生入学保護者説明会（13:30～体育館）

自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <p>1. 自他を大切にする態度を育成する</p> <p>自尊感情や自己肯定感などの自尊感情や、互いに認め合い、励まし合う人間関係について、1回目の学校評価アンケートと比較すると下回っている傾向が窺える。</p> <p>2. 「公共の精神」に基づく態度を育成する</p> <p>学校評価アンケートでの「係や掃除、委員会の仕事がしっかりできている」が上回っていた。校内での取組もあるが、11月12日に開催したかつら川ふれあい祭には88名の生徒がボランティアとして地域行事に参加した。</p>		
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>①「大体そう思う」との回答が多くなり、自律的な振る舞いができるように、あらゆる場面での指導を徹底していく必要がある。②学校評価アンケートにおいて「道徳・学活・総合の時間は楽しい」「言葉づかいに気を付けている」の項目において、「あまりそう思わない」「そう思わない」の割合が増加しており、道徳教育の充実を掲げていることもあったが、生徒達の心情を揺さぶることが不十分であったのではないかと次年度に向けて、年間計画を充実させ具体的なカリキュラムの作成にあたり、自律的な行動が起こせるよう実生活と結びつく指導と興味を結びさせることができるカリキュラムの構築を図っていく必要がある。③地域での中学生が参加出来る行事が、多数あるので、全教職員のボランティア活動への理解と意義を伝え、生徒達が参加できる環境を整えることや生徒・保護者へ広報活動を行う。④自尊感情が高められるように、学校行事の取組や学級活動・地域行事への参加ができるよう教職員での日常のOJTと研修を図る。</p>		
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>本年度も多く生徒が地域行事に参加して、率先して活動をしてくれたので、感謝している。これからも、多くの生徒達が地域行事に参加してくれることを望みます。</p>		
	<table border="1"> <tr> <td data-bbox="199 1733 837 1780">評価日 3月6日</td><td data-bbox="837 1733 1460 1780">評価者 学校運営協議会</td></tr> </table>	評価日 3月6日	評価者 学校運営協議会
評価日 3月6日	評価者 学校運営協議会		



### (3)「健やかな体」の育成に向けて

重点目標		
心身の健康に対する自覚を高め、保健指導・体育的活動を通じて自らの心身と体力を高める指導を強化する。健康教育及び安全教育の充実を図り、安全で健康な学校生活を送ることへの意識を高める。		
具体的な取組		
② 早寝、早起き、朝ごはん」生活習慣を確立させる。(保健だよりの活用等)		
②「食事・運動・休養・睡眠」等の生活習慣の確立が、心身の健康のみならず、学習意欲の向上につながることを理解させるために、保護者への働きかけを行う。		
③保健体育・保健指導・学級指導を通じて、組織的・計画的に「心の教育」の推進を図る。		
④教育の指導を実施し、教科（家庭科）とも連携を図り、食育の充実を図る。		
⑤薬物乱用防止教室や防煙教室を開催し、子どもたちに正しい知識を身に付けさせ、保健教育の充実を図る。		
⑥体育の授業や部活動の充実を図り、運動能力や体力の向上を図るとともに、運動やスポーツを通して達成感や成就感を味わい、豊かな人間性の育成につなげる。		
⑦避難訓練や普通救命講習等の安全指導の充実を図り、防災や安全に関する知識や技能を身につけさせるとともに、生徒たちの地域での担い手としての役割を理解させる。		
(取組結果を検証する) 各種指標		
・生活状況調査や毎朝の健康観察の結果	・委員会活動の実施状況	・運動部活動への加入率
・安全や健康に関する取組の実施状況	・体力テストの結果	・学校評価アンケート
・保健安全教育に関する外部講師による教室の実施回数		
各種指標結果（１回目）		
《全国学力・学習状況調査の結果》		
(１) 朝食を毎日食べていますか		
３あまりしていない 自校 6.7 全国 4.9	４全くしていない 自校 3.6 全国 1.9	
(２) 毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか		
３あまりしていない 自校 26.0 全国 19.5	４全くしていない 自校 5.8 全国 4.8	
(３) 毎日、同じくらいの時刻に起きていますか		
３あまりしていない 自校 11.2 全国 1.3	４全くしていない 自校 6.2 全国 1.3	
(２０) 学校の部活動に参加していますか		
４，運動部，文化部のどちらにも参加していない 自校 17.5 全国 11.5		
《運動部活動への加入率》69.0％ ＊文化部 19.5％		
《学校評価アンケート》		
規則正しい生活ができているか		
１年そう思う 40.0％ 大体そう思う 44.0％ あまりそう思わない 10.9％ そう思わない 5.1％		
２年そう思う 30.2％ 大体そう思う 45.4％ あまりそう思わない 21.0％ そう思わない 3.4％		
３年そう思う 34.0％ 大体そう思う 40.4％ あまりそう思わない 18.1％ そう思わない 7.4％		
相談できる教職員がいる		
１年そう思う 30.1％ 大体そう思う 40.9％ あまりそう思わない 18.2％ そう思わない 10.8％		
２年そう思う 38.0％ 大体そう思う 40.5％ あまりそう思わない 14.1％ そう思わない 7.3％		
３年そう思う 32.8％ 大体そう思う 33.9％ あまりそう思わない 20.1％ そう思わない 13.2％		
《保健安全教育に関する外部講師による教室の実施回数》		
社会を明るくする運動出前授業 １年，ケータイ教室 １年，非行防止教室 ２年，防煙教室 １年（１月）		
運動器機能向上事業		

自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣については、非常に意識が高いと思われ、どの調査においても高い値であった。</li> <li>心の健康を見極めるための教職員への相談する値が、あまり高くなかった。</li> </ul>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <p>①今後も、欠席理由や遅刻理由など保護者・家庭と連携を図り、心身の健康に対する意識の向上を図っていきたい。②部活動、保健体育、家庭科、特別活動（外部講師による教室）などを通じて、生徒の意識を高める。③生徒達の変化に気づけるように、日頃から教職員の連携を図り、教職員の生徒・保護者への働きかけが十分できるように関係を構築しておく。</p>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>部活動の指導が充実しているのか、成績を残してきている部活動もあり、相乗効果がはかれ、自信につながってくる。昔のイメージを変えられる。</p>
	<p>評価日 7月31日</p> <p>評価者 学校運営協議会</p>
<p>各種指標結果（2回目）《学校評価アンケート》</p> <p>規則正しい生活ができているか</p> <p>1年そう思う 31.6% 大体そう思う 47.6% あまりそう思わない 16.6% そう思わない 4.3%</p> <p>2年そう思う 22.9% 大体そう思う 45.4% あまりそう思わない 27.3% そう思わない 4.4%</p> <p>3年そう思う 34.4% 大体そう思う 43.5% あまりそう思わない 18.7% そう思わない 1.9%</p> <p>相談できる教職員がいる</p> <p>1年そう思う 26.8% 大体そう思う 36.1% あまりそう思わない 27.9% そう思わない 9.3%</p> <p>2年そう思う 28.3% 大体そう思う 42.9% あまりそう思わない 20.5% そう思わない 8.3%</p> <p>3年そう思う 32.5% 大体そう思う 42.5% あまりそう思わない 15.6% そう思わない 9.4%</p>	
自己評価	<p>分析（成果と課題）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>生活習慣については、1回目調査では非常に意識が高いと思われたが、今回は「あまりそう思わない」の割合が1・2年生高くなった。</li> <li>心の健康を見極めるための教職員への相談する値が、1・2年生では1回目よりさらに低くなり、3年生では増加していた。</li> </ul>
	<p>分析を踏まえた取組の改善</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>今後も、欠席理由や遅刻理由など保護者・家庭と連携を図り、心身の健康に対する意識の向上を図っていかねばならない。1日・1週間・1ヶ月のスケジュールをしっかりと持たせ、見通しをもった日々を意識させる必要がある。</li> <li>生徒達の変化に気づけるように、日頃から教職員の連携を図り、教職員の生徒・保護者への働きかけが十分できるように関係を構築しておく。</li> </ul>
学校関係者評価	<p>学校関係者による意見・支援策</p> <p>規則正しい生活ができていない原因はなにがあるのかをしっかりと分析してほしい。</p> <p>先生方がいろいろご指導くださっている中で、相談できる教職員が少ないのは残念であるが、生徒と接する時間が多忙なため少なくなっているのではないかと。</p>
	<p>評価日 3月6日</p> <p>評価者 学校運営協議会</p>

#### (4) 学校独自の取組

重点目標	
「小中一貫教育」における9年間の教育 4つのK（桂川中・川岡小・桂東小・川岡東小）で育む、4つのK「聴こう・考えよう・行動しよう・そして感動をつくろう」 ～あいさつのできる子、ともだちと自分を大切にする子、ねばりづよく学習に取り組む子～	
具体的な取組 ①小中連絡会（管理職会・小中連携主任会・生徒指導主任会・研究主任会）の充実。 ②小中合同研修会（研究授業及びテーマ別研修会）小中相互の平常時の授業見学・交流。 ③小学6年生による中学校体験。（授業体験・部活動体験） ④高等学校（桂高校）との授業参観による教職員交流と情報交換。 ⑤中学生訪問による桂東児童館・川岡東児童館との交流。 ⑥地域行事での小中学生の交流。（地域清掃活動・ジョギング大会・かつら川ふれあい祭）	
（取組結果を検証する）各種指標 ・小中一貫連携会議や合同研修会の実施状況      ・地域行事への参加状況      ・学校評価アンケート	
各種指標結果（1回目） ① 小中連絡会（管理職会・小中連携主任会・生徒指導主任会・研究主任会）の実施 ② 小中合同研修会（研究授業及びテーマ別研修会）10月27日実施に向けての検討会実施 ⑤ 各児童館の取組への希望者の参加や吹奏楽部の出演 ⑥ 夏休み明けの牛ヶ瀬公園クリーンキャンペーンの実施 文化芸術事業6月27日2年 運動器機能向上事業	
自己評価	分析（成果と課題） ①3小学校の学校教育目標と中学校の学校教育目標を掲げる中で、各小中連携主任・生徒指導主任会・研究主任会での小中一貫教育構想を取り入れた取組実施内容の検討がなかなか進まない。 ②小中合同研修をする中でも、テーマ設定に苦慮している。 ③例年行っている地域ボランティアには、部活動の生徒を中心に参加ができています。
	分析を踏まえた取組の改善 ①各小中連携主任・生徒指導主任会・研究主任会での小中一貫教育構想を取り入れた取組実施内容の検討ができるように、会議日程を調整し綿密に進められるよう各学校の担当教員に自覚を持ち、取り組んで行く。②小中合同研修では、桂川中学校区での子供の成長に必要な9カ年のテーマ設定と取組が検討できる研修会になるように進める。③地域ボランティアについては、部活動に加入していない生徒の参加率が上がるように、クラス単位での呼びかけを図る。
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 特になし
評価	評価日 7月31日      評価者 学校運営協議会

各種指標結果（２回目）		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・小中連絡会（管理職会・小中連携主任会・生徒指導主任会・研究主任会）の実施</li> <li>・小中合同研修会（研究授業及びテーマ別研修会）10月27日実施</li> <li>・各児童館の取組への希望者の参加や吹奏楽部の出演</li> <li>・かつら川ふれあい祭，新春マラソン大会</li> <li>・運動器機能向上事業</li> </ul>		
自己評価	分析（成果と課題） ①3 小学校の学校教育目標と中学校の学校教育目標を掲げる中で，各小中連携主任・生徒指導主任会・研究主任会での小中一貫教育構想を取り入れた取組実施内容の検討がなかなか進まない。 ②例年行っている地域ボランティアには，部活動の生徒を中心に参加ができている。	
	分析を踏まえた取組の改善 ①各小中連携主任・生徒指導主任会・研究主任会での小中一貫教育構想を取り入れた取組実施内容の検討ができるように，次年度は会議日程を調整し綿密に進められるよう各学校の担当教員に自覚を持ち，取り組んで行く。②小中合同研修では，桂川中学校区での子供の成長に必要な9カ年のテーマ設定と取組が検討できる研修会になるように進める。③地域ボランティアについては，部活動に加入していない生徒の参加率が上がるように，クラス単位での呼びかけを図る。	
学校関係者評価	学校関係者による意見・支援策 地域行事への生徒の参加促進	
評価	評価日 3月6日	評価者 学校運営協議会